

“木の持つ価値を発信するサステナブルなお土産”

横浜から発信する「看板商品」入浴剤

宮大工のかんなクズ ひのき風呂の素

日本には1400年以上前からカーボンニュートラルに資する建築技術を継承してきた歴史があります。その建築を担う宮大工の技術は、2019年ユネスコ無形文化遺産に登録されました。宮大工は世界最高峰の「木のプロフェッショナル」です。本商品は、本来なら捨ててしまうかんなクズを再利用する事によってサステナビリティに寄与し、また「宮大工が削り出したひのきのかんなクズ」という付加価値と独自性を活かしたノベルティです。

POINT1:「かんなクズを活かす」という発想から生まれた新しいプロダクト

廃材である「かんなクズ」を、地域の資源として活かすというコンセプトのもと、宮大工の技術や木の持つ価値を発信する商品として「ひのき風呂の素」が生まれました。既存の入浴剤と違い受注生産の体制を整えることによって、宮大工が削り出したばかりのかんなクズを使用することが可能となり、ノベルティとしての差別化を図っています。

POINT2:日本の伝統・文化に基づいたストーリー性

外袋に使う「麻」や素材である「ひのき」は、1000年以上前に記された日本の伝記にも描かれる植物です。また入浴の文化は「禊（みそぎ、MISOGI）」と呼ばれる「心身を清めるための行為」に由来しており、宮大工や木造建築の伝統と併せ、日本古来の精神性を体験して頂くことができます。

和風の麻袋を使用した商品デザインも日本の伝統と親和性が高く、タグは宮大工の使用する「カンナ」をモチーフにしています。

POINT3:様々な用途に応じてご相談を承ります。

MICE参加者に対する記念品として、コングレスバッグへの封入やルームドロップ等、幅広くご利用頂けます。また、ご注文を頂いてから生産するため、数量や納期についても臨機応変にご対応致します。タグには大会やイベント等の名入れも可能です。

